

# 令和6年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

## 一色防災コミュニティーセンター

日時：令和6年7月20日(土)10:00~11:30

場所：一色防災コミュニティーセンター

参加者：31名（ほか地区長2名）

### 役場新庁舎整備等の進捗状況について

#### 庁舎建設等に伴う財源について

参加者	令和15年までの財政見通しが出ているが、それ以降の町税の見通しはどう見ているのか。地方債の償還について、利率1.5%と2.5%の場合を示しているが、今の状況だと今後2.5%を超えるのではと思うが、どちらをメインに想定しているのか、また、2.5%以上になった場合どうするのか。
財務課	税収見込みは過去の実績ベースで算出している。人口は減少しているが、個人所得は増加傾向にあるため微減で推計している。 一方で、町税等の収入が減ると、地方交付税で補填される仕組みになっていることから、地方交付税は微増することを見込んだ上で、歳入の見通しを立てている。 利率については過去10年変わっていなかったが、ここ最近で上昇傾向となってきている。現状の利率は1.5%以下であり、財政見通しは1.6%で推計している。今後2.5%以上になる可能性もあるが今後どうなるかは不明である。1%上がると償還額が約2000万円/年間増える。一方で利率が上がると、所得も上がる可能性が高いため、町税が増加する。今後の整備は財政状況を見ながら進めていくが、新庁舎とラディアンについては、なるべく早く実施すべきと考えている。
参加者	新庁舎の事業費が35億円とのことだが、以前20億円、25億円という金額が出ていたと思う。実施設計の段階で、建設費等が上がっても35億円を維持できるのか。
施設再編課	ある程度今後の動向も勘案した精度のある金額となっているので、維持できると見込んでいる。
参加者	地方交付税10.4億円というのは、新庁舎建設分か。
財政課	ラディアン、新庁舎あわせての金額となる。新庁舎分は5億8,800万円となる。
参加者	大磯町も庁舎建設を計画しているようだが、大磯町の地方交付税は非常に高いが、それに比べ、二宮町はなぜ比率が低いのか。
財政課	緊急防災・減災事業債というメニューがあり、大磯町のように庁舎に関わる部分の対象事業が津波の危険のある場所から移転する場合、もしくは津波が来ても大丈夫なようなかさ上げ等をする場合は、国で定める入居職員数×職員一人当たり面積で算出できる。一方、二宮町の場合は津波浸水想定区域内でないため、その計算式では対応できない。二宮町が対象としているのは新庁舎の中に災害対策本部や応援職員受け入れ施設で、面積按分等により事業費から算出している。国に相談の上、庁舎の3割程度が災害時の対応拠点となるという根拠に基づき算出している。

## 新庁舎周辺の構造等について

参加者	庁舎の南北棟、福祉会館を分けた理由は何か。
施設再編課	当初は庁舎を一つにすることで考えていたが、発達の段階に応じた適切なケアが必要な子どもが増えている状況を鑑み、こども家庭センターと教育委員会が連携しやすい配置とした。また、デリケートに相談に対応していくため、利用者の方が使いやすいような動線、部屋の配置等を考慮した上で、庁舎を2つに分けた。 福祉会館については、社会福祉協議会の活動拠点ということで庁舎と機能が異なるということと、災害時のボランティアセンター、ラディアンとの連携ということを鑑み、立地を考慮した上で別棟とした。
参加者	新庁舎の耐用年数はどのくらいか。今の庁舎をあと何年使うとするとどのくらいかかるのか。
施設再編課	北棟はRC造で、様々な指標があるが、80年を想定しており、災害対策本部を置くため長く使うことを想定しているため、20年サイクルの大規模改修を踏まえながらメンテナンスのしやすさも考慮し設計に臨んでいる。一方、南棟と福祉会館は軽量鉄骨造で、40年を想定しており、時代変化を踏まえ、将来人口が減ってきた時には、建物を更新せずに他の利用を考えることも想定している。 現庁舎は築46年で老朽化が激しく、断熱もなく、エアコンの効率も悪い状況であり、新庁舎ではランニングコストは3割程度下がると見込んでいる。

## ラディアン改修について

参加者	図書館利用者は、学習室で勉強したい方と図書館で本を読みたい方がいる。新たにロビーにコワーキングスペースを作るとのことだが、図書館利用者にとってはメリットはないと思う。現在の子どものコーナーは奥まった場所にあるので声を気にすることはないし、雑誌コーナーは広くソファもありゆっくりできる。 リニューアル案だと、子どものコーナーから子どもの声が2階に響き、2階の人にとってはうるさく感じ、子どものコーナーにいる子どもも声を出しにくくなる。
町長	図書館開館当初から時代が変わり、子どもの居場所を求める声が多くなっている。コワーキングスペースとあるが、ここはゆっくりしてもらおう場所で、勉強を真剣にやりたい方は2階の学習室での利用と考えている。子どものコーナーは仕切りをつけるので声が2階に筒抜けになることはない。今の図書館利用者の使い勝手はそのままにしていく。2階にもソファを置いてくつろげる場所があっても良いと考えている。
参加者	図書館のガラスを取り払うとのことだが、夏モールは暑くなる、冷暖房の光熱費はどう考えているのか。 また、災害時、本が散乱してしまった場合、中央応急救護所開設の支障にならないか。
施設再編課	図書館・モールは全館空調で集中管理しており、壁の有無で空調に影響しない。 中央応急救護所の設置はミーティングルームとの想定となっているので、災害時は図書館側ではなく、モールより東側を主に使用することを想定している。

## 新庁舎等の子育て支援機能について

参加者	子育ての関係を南棟に集約したというのは理解できるが、どうして町立保育園も集約できなかったのか。百合が丘保育園は老朽化が進んでおり、駅からも遠い。ラディアン周辺にあれば駅からも近いし利用しやすい。子育て世代の移住にもつながり、税収が増えれば、福祉にもつながる。
町長	百合が丘保育園は古い建物だが、子どもを保育する上で特に支障はない。民間の保育園も含めてご利用していただくことを考えている。

## 福社会館について

参加者	社会福祉協議会は福社会館に移るとのことだが、保健センターに移るという計画はなくなったのか。
施設再編課	福社会館は令和4年2月に策定した計画時点では、多目的施設という計画の予算で議会にお示したところ、目的を明確にすべきとの意見があったため、目的を整理し、社会福祉協議会やボランティアセンターの施設である福社会館として計画を修正した。

参加者	福社会館は、障がい者や高齢者が自由に利用できたり集えるスペースを設けてほしい。
政策部長	利用方法は今後検討していく。

## 駅前複合施設について

参加者	駅前複合施設ができる時期はいつ頃で、青写真のようなものがあれば教えてほしい。
施設再編課	令和13年から設計・施工予定で、詳しくは新庁舎・駅周辺公共施設再編計画に駅前複合施設基本構想の中でお示ししており、ホームページから閲覧できる。

## 新庁舎整備等予算の議会上程について

参加者	新庁舎等整備の予算はいつ議会上程するのか
町長	県と用地取得の金額を交渉中である。決定次第なるべく早く年内には上程したいと考えている。

## 町の状況・今後の施策について

### 葛川整備について

参加者	井ノ口で大規模開発があると聞いたが、葛川の浸水対策はどうなるのか。
町長	県でラディアン付近から北側について護岸等の整備を進める計画があるが一部用地買収をするにあたり、測量や設計等準備を進めている。

### 樹木等の処理について

参加者	樹木や竹林等、道路にせり出ている場合、その土地の所有者に対応を求められるが、高齢化が進み、負担になってきている。町でも対応を考えてもらえないのか。
副町長	急迫の事情により道路通行に支障のある場合は道路管理者が対応するが、そうでないものは現状では町では対応が難しい。

### 今後の財政見通しについて

参加者	新庁舎、ラディアン、福社会館だけでなく、今後、駅周辺複合施設、山西プール等多額の事業費がかかるが、その見通しはどこかに示されているか。
財務課	二宮町財政見通しで示しており、町ホームページに掲載している。

# 令和6年度 まちづくり移動町長室 アンケート結果

日時：令和6年7月20日(土) 10時~11時30分

場所：一色防災コミュニティーセンター

## 回答率

出席者数 33人

アンケート回収者数 18人

アンケート回答率 55%

